

なにわ エコウェーブ

Vol.34

2022秋冬

編集・発行

なにわエコ会議

[なにわエコ会議事務局]

〒559-0034

大阪市住之江区南港北2-1-10

ATCビル11F西

NPO法人イー・ビーイング内

TEL:06-6614-2219

FAX:06-6614-1801

E-mail:info@naniwaekokaigi.org

http://www.naniwaekokaigi.org

協力:大阪市



大好評！出前講座「食べ残しNOゲーム」



開催実績

| 年度 | 学校数 | 人数 |
|------|------|-----|
| 2019 | 5 | 349 |
| 2020 | 2 | 187 |
| 2021 | 3 | 145 |
| | 豊中※ | 35 |
| | 泉大津※ | 177 |
| 2022 | 6 | 284 |

延べ人数 1,177

※府内団体からの依頼で実施

「食べ残しNOゲーム」は、大阪市の理科特別授業として、市内の小学校で出前講座を行っています。

カードゲームを通して、日本の喫緊の課題である食品ロスについて、身近な問題として捉え、一人ひとりが行動を起こす必要を分かりやすく学ぶ機会です。

毎年好評で、多数の学校から希望が寄せられ、2019年度以降、1,000名以上の児童が授業を受けました。

まずカードゲームを体験し、地球温暖化や食品ロスの現状と課題についての講義を受けた上で、食品ロスをなくし世界から飢餓をなくすため、また、地球温暖化を防ぐため、どうすればよいのかを、友達と意見を交わしながら考えます。

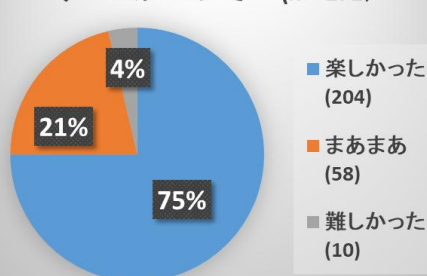


そして授業の最後には、自分にできる行動を文章にします。

アンケートでは楽しかったと答える児童がほとんどで、スタッフも楽しく取り組んでいます。

授業を受けた子どもたちが、食品ロス削減のための行動を起こしてくれることと期待しています。

ゲームについて (n = 272)

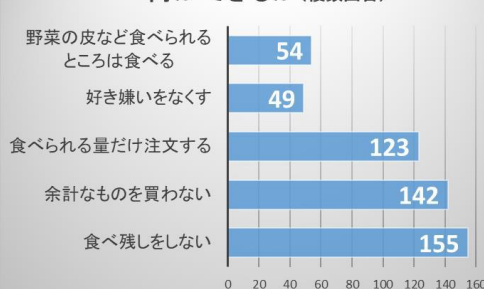


わかったこと(複数回答)



- ・10人に一人が食べ物に困っている
- ・食品ロスは一人当たりおにぎり1個分
- ・フードバンク、ドギーバッグ、WFPのこと
- ・恵方巻などの予約販売
- ・貧しい国はアフリカに多い
- ・食品ロスの意味、出る理由
- ・食品ロスは年々減っている
- ・消費期限が過ぎたものは食べたらダメ
- ・食べ物を捨てたら、よその国が貧しくなる
- ・箱がちよっと壊れただけで捨てられる
- ・紛争のある国がある

何ができるか(複数回答)



- ・少しずつ盛って何度もおかわりをする
- ・玉ねぎの皮を掃除に使う
- ・お持ち帰りをする
- ・食べられない子を思って、嫌いなものも食べる
- ・家族や周りの人に伝える
- ・肥料にする
- ・すぐに食べる時は消費期限が早いものから買う
- ・消費期限の近いものから食べる 買ったらずぐ食べる

- ・自分の食べられる量、アレルギーを知っておく
- ・ペットのエサにする
- ・家にあるものを確認してから買い物に行く
- ・新聞などで食品ロスのことを広める
- ・家族や周りの人に呼び掛ける
- ・SDGsを深く調べる
- ・食べ残しを次の料理に利用する
- ・世界中の人々で取り組む

2022年度「食べ残しNOゲーム」アンケート調査結果より (n=272)

■新部会長 ご紹介 谷 美也子氏



未来を担う子どもたちに、環境問題への関心を深めてもらい、今の環境問題の責任を担う大人たちに、環境保全の行動を起こしてもらうために、環境教育の推進役を務めてまいります。

何かを教える環境教育ではなく、ともに学び、考え、行動をするというスタンスで、なにわエコ会議の環境教育啓発部会の活動を盛り上げていきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

〈プロフィール〉環境カウンセラー

長年にわたり積極的に環境に関する普及啓発活動に取り組む。なにわエコ会議では、小学校で理科特別講座「食べ残しNOゲーム」を実施し、市民向けの講座やイベント等では、障がい者スタッフの起用や高齢者向けの環境教室を開催するなど、誰一人取り残さない社会の実現をめざすSDGsの概念を早くから取り入れ実践する。

■夏休みの自由研究 おおさか環境科

開催レポ

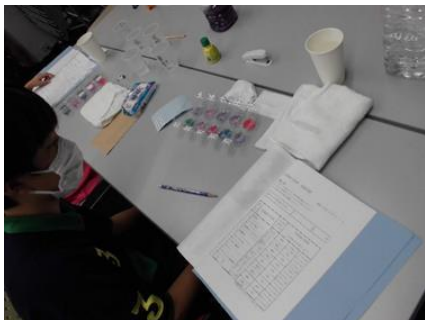
毎年好評の「夏休みの宿題応援 おおさか環境科」。今年も大阪公立大学のボランティア団体CHOVORA!!さんの協力を得て、実施しました。

酸性雨って何？

紫キャベツの色素を抽出した試薬を使用して、色々な水溶液の性質を調べました。

赤くなると酸性、青または緑にな

るとアルカリ性です。色の変化に興味津々で、実験を楽しみました。水はいろいろな物質を溶かす天才で、アルカリ性になったり酸性になったりします。木を枯らし、建造物を溶かす酸性雨。それに溶け込んだ物質は車や火力発電所から排出されたものであることに気付き、自分たちの生活を見直す必要性を感じました。



水の大切さ

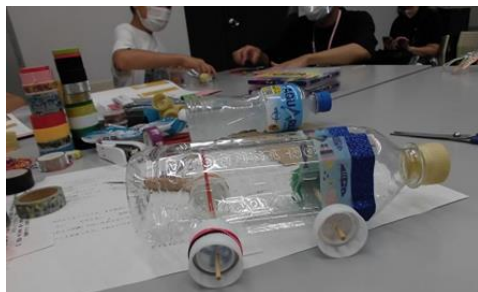
ペットボトルを利用して、手作りろ過装置を作成。砂や活性炭を幾重にも重ね、汚れた水をきれいにする体験をしました。普段、何気なく使っている水ですが、浄水には大変な手間がかかっていることに気付きました。

日本は水に恵まれています。途上国では、飲み水にも事欠き、子どもたちが水汲みの重労働を担っていることも知り、水を大切にしようという態度を身に付けることができました。



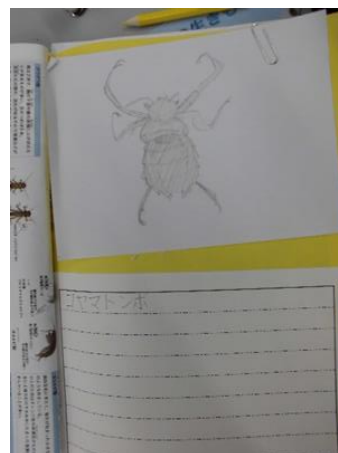
プラスチック工作

ペットボトルをリユースして、プルバックカーや、ペン立てなどを作りました。カッターやハサミを使うときは、お姉さん・お兄さんの手助けがありました。工作を楽しんだ後は、プラスチックごみによる海洋汚染や、プラスチックのリサイクルについて学びました。ごみを少しでも減らし、できるだけリサイクルやリユースをしなければならぬことに気付きました。



川の中の生き物

普段はめったにお目にかかれない珍しい水生生物の標本を観察しました。



きれいな水に棲む生き物、少しきたない水に棲む生き物、きたない水に棲む生き物について、専門家の説明を聞き、そのあと気になる水生生物の標本のスケッチをしました。

講師の先生への質問が相次ぎ、子どもたちの関心の高さがうかがえました。

エコライフ部会

開催レポ

■ごみを拾って野鳥と自然を守ろう

11月6日に、大阪南港野鳥園でエコライフセミナーを開催しました。

UNEP IETC 設立30周年記念イベント
ワールドクリーンアップデー UNEP IETC &
なにわエコ会議共催企画
主催 なにわエコ会議
共催 国連環境計画 国際環境技術センター
(UNEP IETC)、大阪市環境局、(公財) 地球環境センター
協力 NPO法人南港ウェットランドグループ



真っ青な空のもと、ふだん立ち入ることができない海浜に降りてごみ拾い。
とりきれないプラスチックごみ、砂には5ミリ以下のマイクロプラスチックがたくさん混ざっていることなどを実感。
セミナールームでは、海洋プラスチックごみと野鳥の関係、ごみと環境危機、大阪ブルーオーシャンビジョンの実現に向けてのお話を聞き、理解を深めました。
最後は、バードウォッチングを楽しみ、鳥たちをはじめ多くの生き物を守るために、まず全ての人が「ごみはごみ箱へ」を実践することが大切だと改めて思いました。



■なにわエコ会議賞

おめでとうございます！！

2022年度なにわエコ会議賞受賞者が決まりました。

(順不同 敬称略)

ONPO法人大阪府民環境会議よりの推薦

岡 秀郎

「『農力隊』として水田などの農空間・生物多様性を保全」

○一般社団法人ガールスカウト大阪府連盟よりの推薦
ガールスカウト大阪府第137団

「アサギマダラ飛来への取り組みと里山活動」

○大阪市中央区地域女性団体協議会よりの推薦

大阪市中央区地域女性団体協議会 玉造女性会

「中央区の道路や公園の環境美化・清掃活動や子どもたちへの声掛け」

○大阪市環境局よりの推薦

大阪市エコボランティア

竹原 秀樹、神田 哲久、深江 隆志

「かねてより積極的に大阪市エコボランティア活動を行い、市民への環境学習・啓発活動に貢献」

ONPO法人大阪環境カウンセラー協会よりの推薦

富田 真子、泉 美矩

「食べ残しNOゲーム、おおさか環境科やエコ縁日での活動」

○大阪環境ネットよりの推薦

岸本 都美、阿南 暢子、水藻 努、荒井 修章、三田 優佑、織田 祥子

「『障害があっても社会貢献』をコンセプトに、イベントのブーススタッフとして活躍」

○なにわエコ会議 環境教育啓発部会・生物多様性部会よりの推薦

大阪公立大学環境保護・国際サークル

CHOVORA!!

西田 幸仁、長谷 彰太、長澤 幸大、難波 直也、高島 海月、安田 七彩、山下 徹也

「夏休みの自由研究 おおさか環境科や淀川探検隊での活動」

11月26日(土) 環境ふれあいひろばin中央にて表彰式をおこないます。

なにわエコ会議 委員団体ご紹介

■おおさかATCグリーンエコプラザ

おおさかATCグリーンエコプラザは、大阪南港の複合施設ATCの中にある環境・SDGs（エス・ディー・ジーズ）をテーマとした常設展示場です。

主催は大阪環境産業振興センター実行委員会（大阪市、アジア太平洋トレードセンター株式会社、日本経済新聞社）によって行われ、4,500㎡の施設の中で100社を超える企業や団体の環境・SDGsに関する取組みの展示を行っています。

日々、企業や行政から学校、海外のお客様等、多様な来館者様をお迎えし、各社の環境経営にまつわる情報や環境配慮型商品・サービスの紹介するとともに、ビジネス向けセミナー・交流会や一般向けイベント等を開催することで、最新の環境・SDGs関連情報の発信を行い、関連産業の振興を目指して活動を行っています。

昨今では、環境に関する関心は世界中で高まっており、2015年に国連で採択されたSDGsには、17の開発目標のうち、環境に関連する物が多くあります。おおさかATCグリーンエコプラザは、未来に向けた環境ビジネス創出を応援しています。



事務局からのお知らせ

なにわエコパートナーを募集しています

＊「なにわエコ会議」に参加して、家庭・職場等における省エネ運動や出前講座などの環境教育・学習の支援、環境マネジメントシステムの普及など地球温暖化防止等の取組みを、一緒に勉強し、実践しませんか。

＊詳細は、なにわエコ会議ホームページをご覧ください。(http://www.naniwaekokaigi.org)

●なにわエコ会議のシンボルマーク



たこ焼きを地球儀にみたて、そこに大阪城、通天閣、海遊館を配置することによって大阪らしさを強調し、パートナーシップの力と大阪人の創意工夫で地球温暖化にストップをかけようという願いを込められたものです。



←見学ご案内、セミナー・講座ご案内

出前講座をご活用ください

＊「出前講座」に食品ロスカードゲームなどの新プログラムが加わりました。
プログラムは、ホームページに掲載しています。

皆様の力をなにわエコ会議活動で発揮しませんか

＊なにわエコ会議では、「エコライフ部会」、「環境教育・啓発部会」、「環境に配慮した企業部会」、「生物多様性部会」が中心となり、様々なイベントに取り組んでいます。
参加希望者は、事務局まで連絡をお願いします。

なにわエコウェブ Vol.34

■発行 なにわエコ会議
■編集 なにわエコ会議 事務局
〒559-0034
大阪市住之江区南港北 2-1-10 ATC ビル ITM 棟 11F 西側
特定非営利活動法人イー・ビーイング内
■TEL: 06-6614-2219 FAX: 06-6614-1801
■E-Mail info@naniwaekokaigi.org
■HP http://www.naniwaekokaigi.org
■Twitter https://twitter.com/naniwaekokaigi